

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善(例)

【学 年】 小学校第5学年

【単元名】 We Can 1 Unit 9 Who is your hero? (5時間扱い)

【育成する資質・能力】

〔知識及び技能〕	〔思考力, 判断力, 表現力等〕
2 (1) ア (イ) 語と語の連結による発音変化	2 (2) ア 身近で簡単な事柄について, 伝えようとする内容を整理したうえで, 簡単な語句や基本的な表現を用いて, 自分の考えや気持ちなどを伝え合うこと。

【主な学習活動と留意点】

前単元からのつながり : 校内の先生のことについて紹介し合った。(Unit 5)

- ・第三者について紹介する表現を理解した。
- ・校内の先生について, インタビューしたことをもとに紹介した。

働かせる見方・考え方 : 相手に配慮し, 情報を整理しながら考えを形成し, 再構築すること。

時間	学習活動 (時間)	留意点
1	<p>1 得意なことの表現の仕方がわかる。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HRTは, 何名かの有名人等の写真を提示しながら英語で紹介し, 児童とやり取りする。 ・Let's Watch and Thinkを視聴し, これをモデルにLesson Goalを設定する。 ・Let's Listen 1を聞き, 内容を理解する。 	<p>単元の見通しをもつ場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が興味を抱いている人物を提示しながらやり取りし, ヒーローを紹介したいという意欲を引き出すようにする。
2	<p>Lesson Goal : My hero をクラスみんなにわかりやすく伝えよう</p>	
3	<p>2 第3者のできることを尋ねたり答えたりする。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Let's Watch and Thinkを再度視聴し, 分かったことを発表する。 ・Let's Play 1 (P71)で誌面イラストをヒントに質問をして, 相手のことを知る。 <p>3 第3者のできることや得意なことを聞いたり言ったりする。(1)</p>	<p>言語活動を通して指導をする場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Small Talkでは, 校内の先生ができることを英語でヒントとして出し, クイズ形式で児童とやり取りを行う。 ・Let's Play 1を通して, 言語材料のbe good at ~やcan~に慣れ親しんでいく。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・Let's Listen 2を聞き, 内容を理解する。 ・Let's Play 2 (P71)では, 前時のLet's Play 1で分かった情報をもとに別の友達に伝え合う。 <p>4 自分や第3者のできることや得意なことを聞いたり言ったりする。(1)</p>	<p>言語活動を繰り返して指導をする場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Small Talkでは, 校内の先生やクラスの友達が得意なことについて児童同士でもやり取りをするように促す。 ・前時も含めて, Let's Read and Writeを扱い, 書くことも行っていく。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・Let's Listen 3を聞き, 内容を理解する。 ・Activity 1をもとにペアで伝え合い, その内容を別の友達と伝え合う。 <p>5 好きな有名人についてできることや得意なことを聞いたり言ったりする。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Let's Listen 4を聞き, 内容を理解する。 ・Activity 1を別のペアや友達と行う。 	<p>Lesson Goalの確認をする場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Small Talkでは, 自分の好きな有名人についてMy heroとして, ペアでお互いに話をする。

次単元へのつながり : ALTに日本の魅力を伝える。(We Can!2 Unit 2)

- ・ALTが知りたいことは何かを考え, 紹介する内容を考える。
- ・ALTが理解しやすいように工夫しながら日本の魅力を伝える。